

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2024年 7月10日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 4 件

| NO. | 号機等         | 不適合件名   | グレード | 発見日   |
|-----|-------------|---|------|-------|
| 1   | 1号機         | 500kV/66kV開閉所圧縮空気系減圧弁において、動作不良(設定圧力1.5MPaに制御できずに圧縮空気圧力の低下)が認められたため、当該減圧弁を点検・修理。   | GⅢ   | 7月10日 |
| 2   | 1・2号廃棄物処理設備 | 加熱蒸気戻り系蒸気フィルター排水弁において、補助ボイラー起動後に弁シート部より水の漏えい(非放射性:約30秒に1滴の床面に滴下)が認められたため、当該弁を点検・修理。<br>なお、受け皿設置及び当該フィルターへの蒸気流入を停止(閉弁)したことにより水の漏えい(滴下)はなくなった。  | GⅢ   | 7月8日  |
| 3   | 3・4号廃棄物処理設備 | 加熱蒸気戻り系スチームトラップにおいて、補助ボイラー起動後にボンネットボルト部より蒸気の漏えい(非放射性蒸気)が認められたため、当該スチームトラップを交換。<br>なお、当該スチームトラップの前後弁を閉止し蒸気の漏えいは停止した。<br>また、蒸気漏えいによる人身災害はありません。 | GⅢ   | 7月8日  |
| 4   | 3・4号廃棄物処理設備 | 固化系凝縮水タンク室において、蒸気の漏えい(非放射性蒸気)及び火災報知器の動作が認められたため、原因調査・対応検討。<br>なお、運転していた所内ボイラーを停止し、蒸気の漏えいは停止。<br>また、蒸気の漏えい量(凝縮水)の総量は約15.3リットルであり、人身災害はありません。   | GⅢ   | 7月9日  |